



レプリケーション関係の作成

Element Software

NetApp
November 12, 2025

目次

レプリケーション関係の作成.....	1
ElementソースからONTAPデスティネーションへのレプリケーションの作成.....	1
ONTAPソースからElementデスティネーションへのレプリケーションの作成.....	2

レプリケーション関係の作成

ElementソースからONTAPデスティネーションへのレプリケーションの作成

プライマリストレージのソースボリュームとセカンダリストレージの宛先ボリュームの関係は、データ保護関係と呼ばれます。使用することができます `snapmirror create` Element ソースからONTAP宛先、またはONTAPソースから Element 宛先へのデータ保護関係を作成するコマンド。

SnapMirror を使用すると、Element ボリュームのスナップショット コピーをONTAP宛先システムに複製できます。Element サイトで災害が発生した場合、ONTAPシステムからクライアントにデータを提供して、サービスが回復したときに Element ソース ボリュームを再アクティブ化できます。

開始する前に

- 複製するボリュームを含むエレメント ノードがONTAPからアクセス可能になっている必要があります。
- ElementボリュームのSnapMirrorレプリケーションを有効にしておく必要があります。
- 「mirror-vault」ポリシータイプを使用している場合は、複製される Element スナップショット コピーに対してSnapMirrorラベルが設定されている必要があります。



このタスクは、"[ElementソフトウェアのWeb UI](#)"または"[APIメソッド](#)"。

タスク概要

要素のソースパスを次の形式で指定する必要があります。 <hostip:>/lun/<name>`ここで「`lun`」は実際の文字列「lun」であり、`name`要素ボリュームの名前です。

Element ボリュームは、ONTAP LUN とほぼ同等です。SnapMirror は、Element ソフトウェアとONTAP間のデータ保護関係が初期化されるときに、Element ボリュームの名前を持つ LUN を作成します。SnapMirror は、LUN が Element ソフトウェアからONTAPへの複製の要件を満たしている場合、既存の LUN にデータを複製します。

レプリケーション ルールは次のとおりです。

- ONTAPボリュームには、1つの Element ボリュームのデータのみを含めることができます。
- ONTAPボリュームから複数の Element ボリュームにデータを複製することはできません。

ONTAP 9.3 以前では、宛先ボリュームには最大 251 個のスナップショット コピーを含めることができます。ONTAP 9.4 以降では、宛先ボリュームに最大 1019 個のスナップショット コピーを含めることができます。

手順

- 宛先クラスターから、Element ソースからONTAP宛先へのレプリケーション関係を作成します。

```
snapmirror create -source-path <hostip:>/lun/<name> -destination-path  
<SVM:volume>|<cluster://SVM/volume> -type XDP -schedule schedule -policy  
<policy>
```

コマンド構文全体については、マニュアル ページを参照してください。

次の例では、デフォルトを使用してSnapMirror DR関係を作成します。`MirrorLatest`ポリシー：

```
cluster_dst::> snapmirror create -source-path 10.0.0.11:/lun/0005
-destination-path svm_backup:volA_dst -type XDP -schedule my_daily
-policy MirrorLatest
```

次の例では、デフォルトの`MirrorAndVault`ポリシー：

```
cluster_dst::> snapmirror create -source-path 10.0.0.11:/lun/0005
-destination-path svm_backup:volA_dst -type XDP -schedule my_daily
-policy MirrorAndVault
```

次の例では、`Unified7year`ポリシー：

```
cluster_dst::> snapmirror create -source-path 10.0.0.11:/lun/0005
-destination-path svm_backup:volA_dst -type XDP -schedule my_daily
-policy Unified7year
```

次の例では、カスタムを使用して統合レプリケーション関係を作成します。`my_unified`ポリシー：

```
cluster_dst::> snapmirror create -source-path 10.0.0.11:/lun/0005
-destination-path svm_backup:volA_dst -type XDP -schedule my_daily
-policy my_unified
```

終了後の操作

使用`snapmirror show`SnapMirror関係が作成されたことを確認するコマンド。コマンド構文全体については、マニュアル ページを参照してください。

ONTAPソースからElementデスティネーションへのレプリケーションの作成

ONTAP 9.4 以降では、SnapMirror を使用して、ONTAPソースで作成された LUN のスナップショット コピーを Element デスティネーションに複製することができます。これは、LUNを使用してONTAPからElementソフトウェアにデータを移行する場合に便利です。

開始する前に

- ONTAPからElementデスティネーション ノードにアクセスできるようにしておく必要があります。
- ElementボリュームのSnapMirrorレプリケーションを有効にしておく必要があります。

タスク概要

要素の宛先パスを次の形式で指定する必要があります <hostip:>/lun/<name>`ここで「`lun`」は実際の文字列「`lun`」であり、`name`要素ボリュームの名前です。

レプリケーションルールは次のとおりです。

- レプリケーション関係には、タイプ「`async-mirror`」のポリシーが必要です。
デフォルト ポリシーまたはカスタム ポリシーを使用できます。
- iSCSI LUNのみがサポートされます。
- ONTAPボリュームからElementボリュームに複数のLUNをレプリケートすることはできません。
- ONTAPボリュームから複数のElementボリュームにLUNをレプリケートすることはできません。

手順

1. ONTAPソースからElementデスティネーションへのレプリケーション関係を作成します。

```
snapmirror create -source-path <SVM:volume>|<cluster://SVM/volume>  
-destination-path <hostip:>/lun/<name> -type XDP -schedule schedule -policy  
<policy>
```

コマンド構文全体については、マニュアル ページを参照してください。

次の例では、デフォルトを使用してSnapMirror DR関係を作成します。`MirrorLatest`ポリシー：

```
cluster_dst::> snapmirror create -source-path svm_1:volA_dst  
-destination-path 10.0.0.11:/lun/0005 -type XDP -schedule my_daily  
-policy MirrorLatest
```

次の例では、カスタムを使用してSnapMirror DR関係を作成します。`my_mirror`ポリシー：

```
cluster_dst::> snapmirror create -source-path svm_1:volA_dst  
-destination-path 10.0.0.11:/lun/0005 -type XDP -schedule my_daily  
-policy my_mirror
```

終了後の操作

使用 `snapmirror show` SnapMirror関係が作成されたことを確認するコマンド。コマンド構文全体については、マニュアル ページを参照してください。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。